

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)説明書

食道、胃、十二指腸の病気が疑われるために、上部消化管（食道、胃、十二指腸）を内視鏡で詳しく調べる必要があります。また、病変の診断に組織検査が必要と考えられる場合には、病変の一部を採取いたします（生検）。

ご理解頂き、疑問な点がある場合には御説明いたします。

【内視鏡検査にかかわる合併症(偶発症) について】

診断のための内視鏡検査でも、ごくわずかですが合併症があり得ます。

○前処置に関して

- ・前処置で使用する薬剤でアレルギーや強い副作用を起こすことがあります。
- ・薬剤アレルギー、セルシン注射による静脈炎を起こしたことがある方、心臓病、緑内障、前立腺肥大症、糖尿病のある方は申し出てください。
- ・大動脈瘤、脳動脈瘤などの力みを禁じられている方もご注意ください。
- ・安定剤を希望される方は、御家族に付き添っていただくか、お迎えに来ていただくか、もしくはタクシーをご利用ください。安定剤を使用した方は、約1時間は病院で休んでいただきます。

○内視鏡の挿入に関して

内視鏡の挿入時に、咽頭反射により自律神経を介して心臓肺機能に少なからず悪影響がある場合があります。また喉は薄くて抵抗が弱く傷つきやすいところです。緊張が強すぎて過呼吸のため手足がしびれたりすることがあります。

○生検に関して

生検で少量の出血はありますが、ときに相当な出血を伴うことがありますので検査後は便の色に気をつけてください。

また、脳血栓や心筋梗塞等で血液が固まりにくくなる薬を飲んでいる場合は必ず前もってお知らせください。

検査に際して軽いものから重篤なものまでさまざまな合併症が起こり得ますが、細心の注意を払って検査を行います。

検査に関する疑問、予約の変更をされる場合は、下記へご連絡ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構
南海医療センター 内科外来
代表 0972-22-0547